



Innovation Summit

事例が語るビジネス改革

成功へのアプローチ～それはSOA

B-1

Webサービス/XMLデータのための マッシュアップ・プラットフォームの活用

株式会社ジャストシステム
xfyエンタープライズ事業本部
xfyエンタープライズテクニカルセールスサポート部

六戸 力

IBM

会社概要

会社名	株式会社ジャストシステム
創立	1979/7
本社所在地	徳島県徳島市
海外拠点	
North America	Palo Alto (US), Pittsburgh (US), Vancouver (Canada)
Japan	東京 及び 9 事業所
Asia	上海, 大連
従業員	1,000人(海外含む)
売上高	122 億円(2005)
製品	- ワープロ(一太郎) - グラフィック(花子) - 日本語入力ソフト(ATOK) - ナレッジマネジメント(ConceptBase) ... etc.



Innovation Summit
事例が語るビジネス改革
成功へのアプローチ～それはSOA

2

海外ネットワーク



成功へのアプローチ～それはSOA

- SOAを活用するために大切なことは？
 - 「標準化」
 - 「オープンスタンダード」

標準化、オープンスタンダード採用のメリット

- 企業の内部統制の強化
 - 監査が難しい特殊なシステムを減らすこと
- ITガバナンス
 - 全体最適の重要な指針
- ビジネスの加速
 - ITがボトルネックにならない
 - 差別化と変化対応力
 - 少ないIT投資でより大きなビジネスメリット

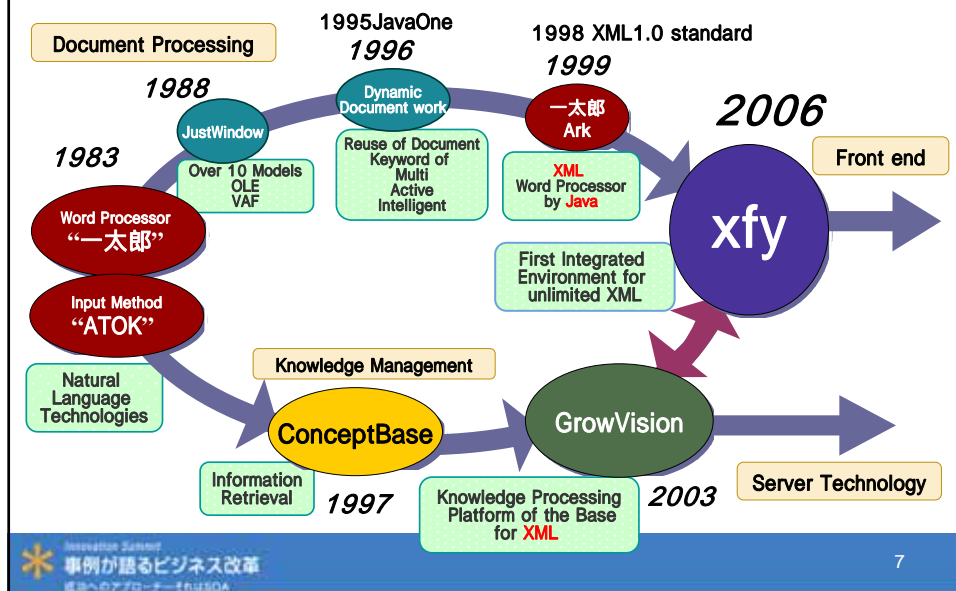


SOAの実現に不可欠な標準技術

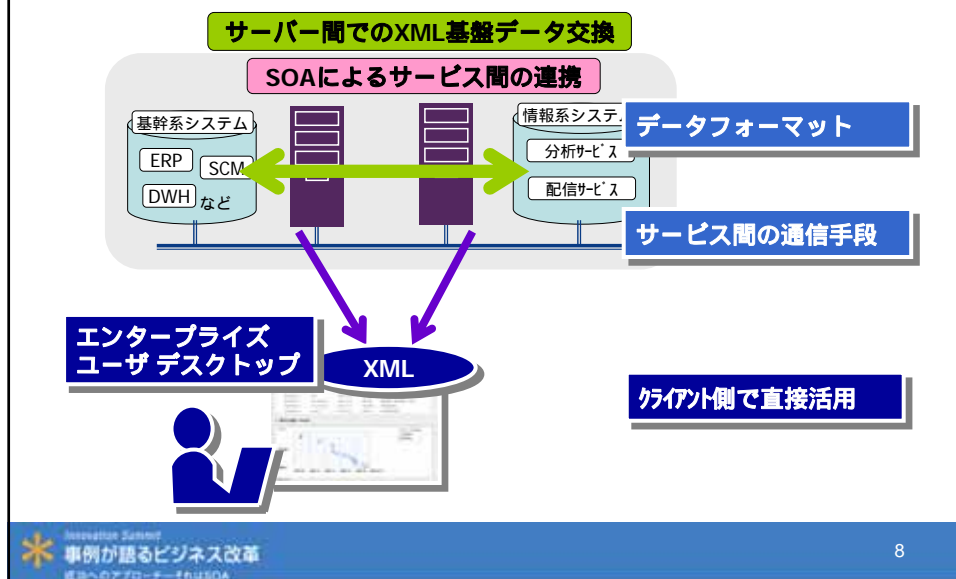
- Webサービス
 - XML
- 企業の持つビジネスに直結する様々な情報を、ビジネスの最前線で活用するためには？



ジャストシステムの標準技術対応への道程



Webサービス、XMLの活用



XMLとは

- データ表現に関する**標準化**のために作られた**オープンスタンダード**

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<書籍 ISBN="ISBN-YYYY-JJJJ-RR">
  <タイトル>XMLかんたん入門</タイトル>
  <著者>ろくのへ つとむ</著者>
  <出版社>ジャストシステム</出版社>
  <価格>1200</価格>
  <発行日>2006/10/31</発行日>
  <概要>初心者むけに書かれたXML入門書</概要>
</書籍>
```

シンプルな文法

意味のわかるタグ

データ種別の制約

構造がわかる

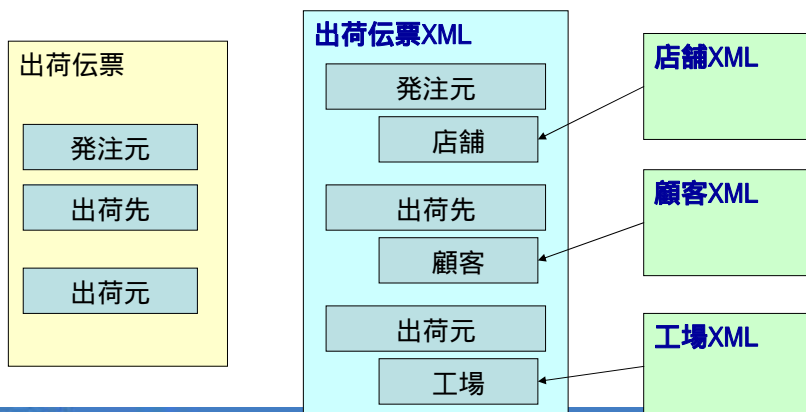
プラットフォームに依存しない

相互運用性

長期の運用

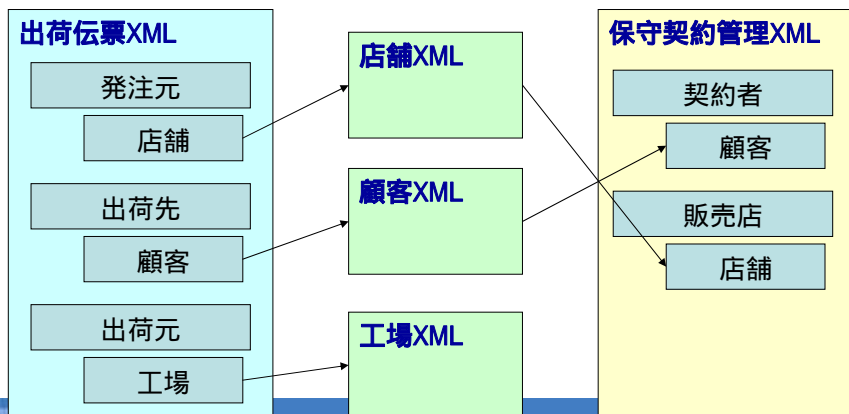
XMLのメリット

- XMLを利用することで**標準化が推進**される
 - データ概念モデルの構築



XMLのメリット

- XMLを利用することで**標準化が推進**される
 - 構造化され、活用、再利用しやすい情報の蓄積



XMLの特徴

- 利用目的に応じた**標準規格(ボキャブラリ)**
 - 使う単語や構成要素の組み合わせを標準化
- 標準規格として**公開されているボキャブラリ**を利用すれば、より、相互運用性の高い、オープンなシステムを作ることができます。

XMLボキャブラリ標準規格の例

金融関連	
XBRL	財務情報を公開・交換する標準仕様。EDINET、東京証券取引所など
FIXML	証券業界のオンライントレーディング
ACORD	保険業界向けXML
出版	
NewsML	ニュース配信。ロイター、共同通信など
SportML	競技データ(スコア、スケジュール、選手情報など)
製造	
RosettaNet	電子・電気機器業界のサプライチェーン
流通	
cXML	消費財の電子購買
その他	
ebXML	企業間商取引
XACML	インターネット上の情報接続
UBL	発注書や請求書といった商取引

XMLのメリット

- XMLとは
 - データ表現に関する**標準化**のために作られた**オープンスタンダード**
- XMLを利用することで**標準化が推進**される
 - データ概念モデルの構築
 - 構造化され、活用、再利用しやすい情報の蓄積
- **過去の経験を活用**できる
- **業務横断的、システム横断的な情報活用**
- **ビジネスに直結する、フロントエンドの技術**

XMLの導入障壁

- XMLが十分活用されているか？

- XMLは普及している？

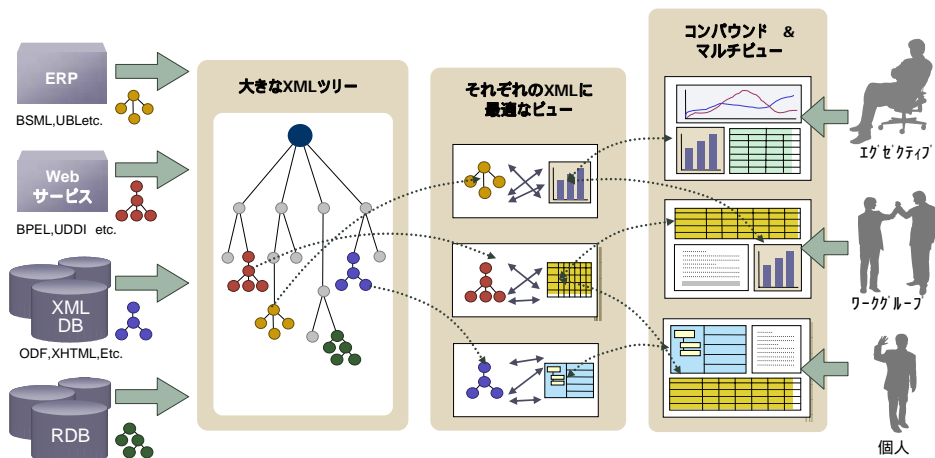
- ⇔ **すでに多くのシステムが対応しており、活用されています。**

- システム横断的、業務横断的に活用されているか？

- ⇔ XML自体の自由度があまりに高く、**包括的に扱うには技術的な敷居が高いが、ポイントソリューションとして普及しています。**

XMLの最先端技術

- コンパウンドXML

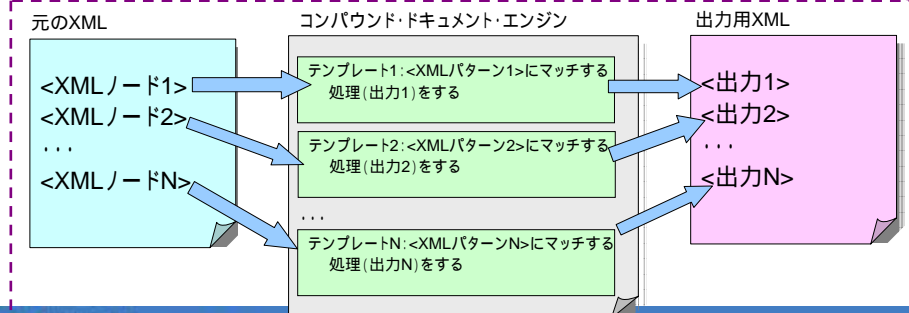
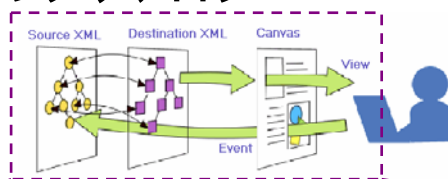


XMLコンパウンドドキュメントのデモ

- xfyによるデモンストレーションをご覧ください。

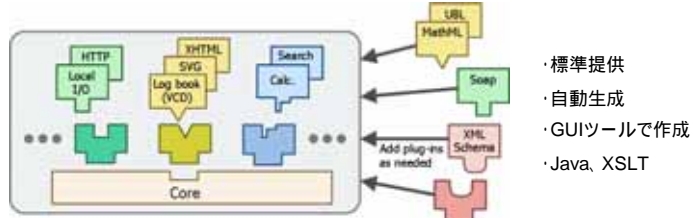


xfyのテクノロジー

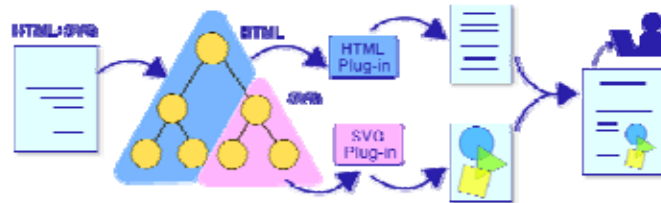


xfyのプラグイン機構

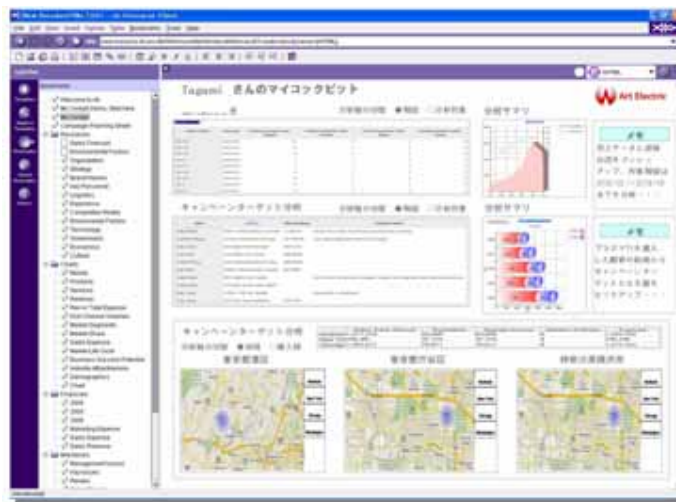
利用目的に応じたXML処理用のプラグインコンポーネント



コンパウンド・ドキュメントへの対応



適用事例: 自分 Cockpit



適用事例: 自分コックピット

• 自分コックピット

– 進化する情報共有

- データだけでなく、ナレッジ、ノウハウ、メソ
ドログをコンポーネント化し共有できる

– 基幹システムの情報を活用できる

– さまざまな表現形態で訴求できる

– 変化対応力と即応性

– 個々人によるビジネスの創出



これまでの電子コックピットの問題点

• 本当に活用されているのか？

– ビジネスの変化に即応できない

- 小回りがきかない
- ビジネスのスピードにそぐわない

– 見方、使い方がわからない

– 現場のノウハウがフィードバックされない

– 組織横断的にノウハウが共有されない

– …



エンタープライズ・マッシュアップ

- 多様な情報を正確・迅速・柔軟にマッシュアップ
 - 最新の情報を正確に
 - リアルタイム性の高いドキュメント・アプリケーション
 - 転記作業の排除
 - ビジネスアジリティの向上
 - データビューのコンポーネント化と共有
 - データ概念モデルの正規化
 - ビジネスユーザの思いのままにマッシュアップ
 - 基幹システムの情報を活用



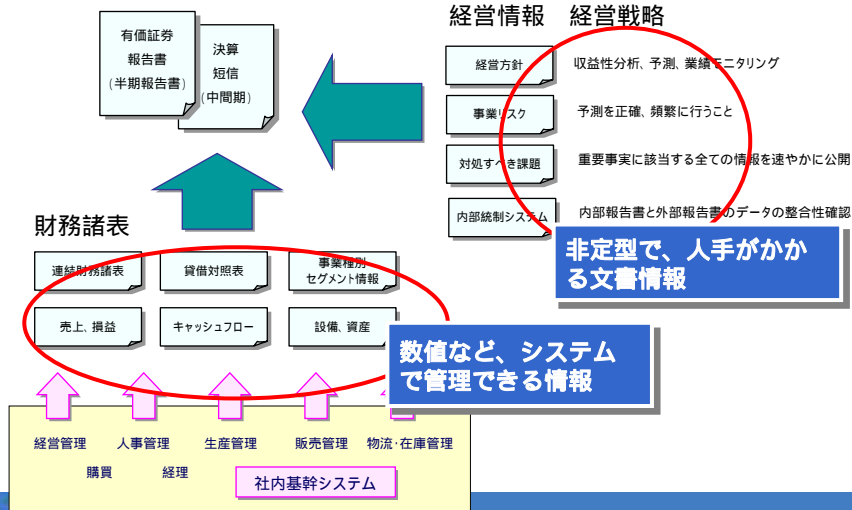
ビジネスユーザの大きな役割

- 基幹システムのデータを活用
 - ビジネスに直結する基幹システムのデータ
 - 情報がいかに正確で、最新なものか
- 基幹システムの情報をどう取り出すか
 - XML標準への対応が進む基幹システム
 - Webサービスでのダイレクトアクセス
- ビジネスユーザの大きな役割
 - 基幹システムの様々な情報を活用すること



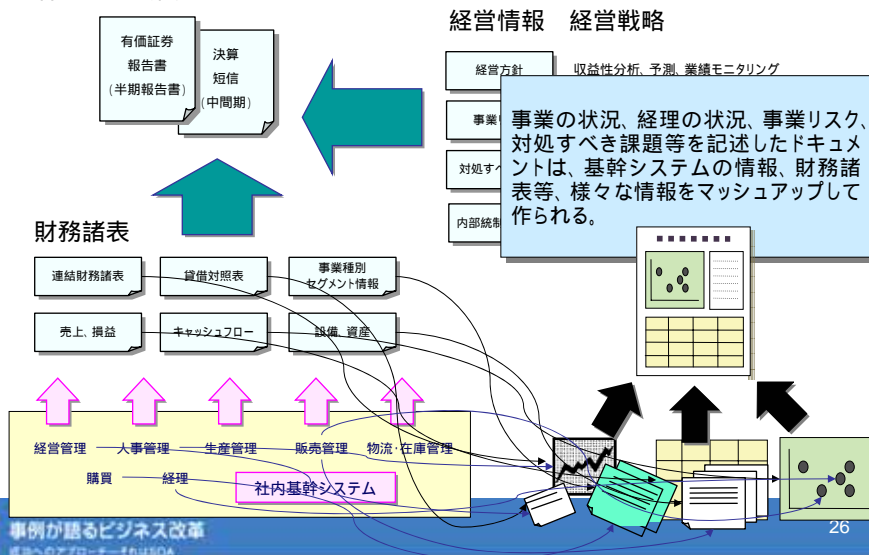
エンタープライズ・マッシュアップの事例 経営情報の開示、経営情報の活用

株主への公開



エンタープライズ・マッシュアップの事例 経営情報の開示、経営情報の活用

株主への公開



情報の活用

- 経営情報の公開
 - 最新で正確な情報を毎月公開していく必要がある
 - 標準技術であるXBRLへの対応
 - 経営戦略や事業状況など半定型の報告書

さまざまな経営情報を効率よくマッシュアップし、効果的に可視化することが求められています。 **XMLを活用してください！**



ビジネスバリューはどこにある？

- SOAの本当のビジネスバリューはどこにあるのでしょうか？
- どうマッシュアップするかがビジネスユーザの大きな役割



情報の活用



マッシュアップの3つの効果

- ワンストップサービス、シングルウィンドウの実現
 - 利便性・訴求力の高い一つのビュー
 - 俯瞰的な視野での情報活用
- 共通的な知識・ノウハウの共有によるビジネス・アジリティの強化
 - 部品(コンポーネント)レベルの迅速な標準化
 - 標準化による効率・品質の向上
 - ビジネスに対する俊敏性と応答性の強化
- 競争力を高める個別対応が可能
 - ビジネスの最前線にあるクライアントサイドの技術



www.xfy.com

ありがとうございました。

